

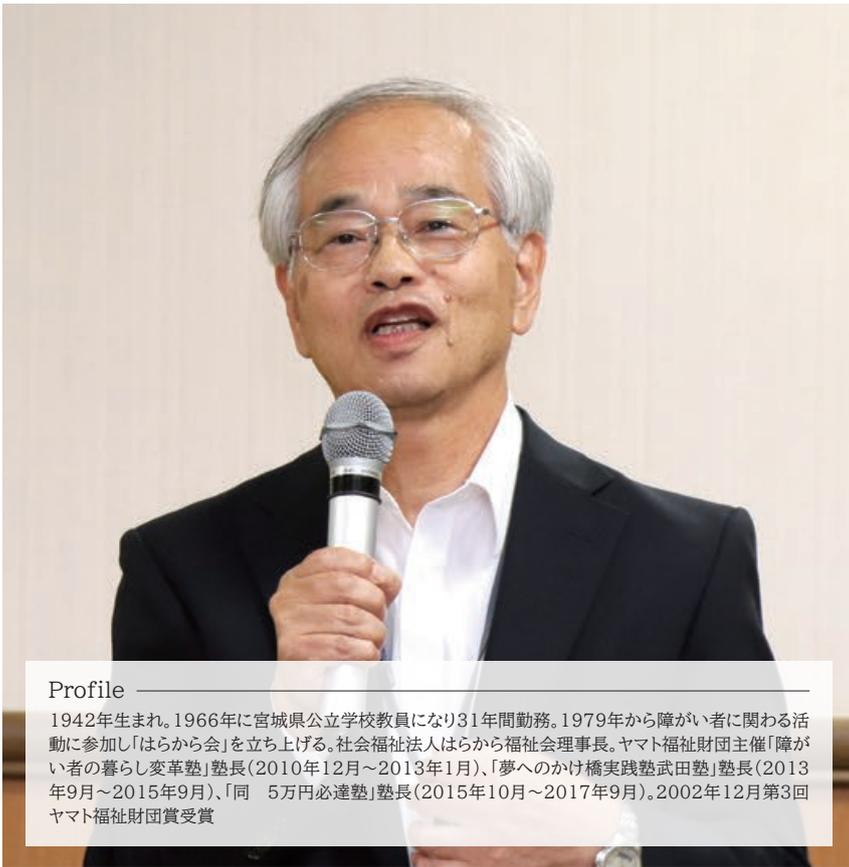
# NEWS



巻頭企画 【山内理事長を囲んで】  
沖縄のみなさんとリモート座談会

こんなときこそ助け合う  
「ゆいの精神」を





## 困難さは困難なだけ 不可能ではない

### Profile

1942年生まれ。1966年に宮城県公立学校教員になり31年間勤務。1979年から障がい者に関わる活動に参加し「はらから会」を立ち上げる。社会福祉法人はらから福祉会理事長、ヤマト福祉財団主催「障がい者の暮らし変革塾」塾長(2010年12月～2013年1月)、「夢へのかけ橋実践塾武田塾」塾長(2013年9月～2015年9月)、「同 5万円必達塾」塾長(2015年10月～2017年9月)。2002年12月第3回ヤマト福祉財団賞受賞

はらから福祉会は無認可時代を含めると、今年、40周年の節目の年を迎えます。昭和58年(1983年)養護学校高等部を卒業して行先が無かったり、長年在宅生活を余儀なくされた重度の人たちの働く場としてスタートしました。障害者5名とボランティアで。

それから40年、「働くことを生活の柱に」をスローガンに、働くことと暮らせる賃金の保障にこだわってきました。年金と併せて暮らせる収入を目標に、目指すは工賃7万円としました。令和3年度B型事業所7か所の内2か所が目標を達成しそうです。ここ2～3年で全事業所が、目標を達成するべく取り組んでいるところです。

この40年間で分かったことがあります。

それは、障害からくる仕事上の困難さを解決できるのは高収益の商品づくりであるということです。言い換えれば、高い工賃を払うことができる仕事こそが障害の重い人達を働かすに育てます。

高収益の商品は高品質です。難しい作業工程があります。これを手作業でやろうとすれば障害からくる不自由さに負けてしまいます。時には不可能に近い状態になります。ではどうするか、機械化です。最先端の科学技術を導入することで人間の限界を取り払います。この時、問われるのは導入する高額な機械の減価償却費を賄える売上げを上げることができるかどうかです。販売戦略も問われます。

全国豆腐品評会金賞受賞、みやぎ生協をはじめとする地元の大規模量販店への納品、地元小中学校給食へのパンの納品、地元自治体でのふるさと納税返礼品の採用等がはらから福祉会の現在の到達点です。

みんなやりがいのある仕事をしたいと思っています。みんな誰かの役に立ちたいと思っています。このことに例外はありません。これが私たちの働くことについての基本的な考え方です。みんないろんな困難さを持っています。しかし、困難さは困難なだけです。不可能ではありません。知恵を出し、力を合わせてゴールへ向かおうと思います。

※障がいの表記について：本コラムは著者の表記を尊重しています

## CONTENTS

表紙写真

本紙掲載のライブストリームin沖縄、農福連携実践塾見学勉強会、楠元塾塾長視察、ヤマト繋がるプロジェクトで構成しました

- 03 巻頭企画 【山内理事長を囲んで】  
沖縄のみなさんとリモート座談会  
こんなときこそ助け合う「ゆいの精神」を
- 10 2022年度ヤマト福祉財団助成金  
障がい者給料増額支援助成金が決定しました
- 12 2022年度ヤマト福祉財団助成金決定一覧
- 08 2021年度障がい者の働く場パワーアップフォーラム  
ライブストリームin沖縄  
チバリョー!沖縄 コロナ禍をこえて
- 13 農福連携実践塾見学勉強会・早月農園  
地域を守る役目を担う 農福に期待



日本障害フォーラムが推進するイエローリボン運動に賛同しています。

# 【山内理事長を囲んで】沖縄のみなさんとリモート座談会 こんなときこそ助け合おう

## 「ゆいの精神」を



ヤマト福祉財団 山内理事長



沖縄ヤマト運輸労働組合  
玉城 清志執行委員長



株式会社ゆにばいしがき 代表取締役  
津嘉山 航(つかやま わたる)氏



(有)やんばるライフ 専務取締役・  
(同)やんばる彩葉 代表 比嘉 美み子氏

「沖縄が抱える問題点や、気候・特産物・観光資源などの良いところを見つめ利用者さんの仕事と給料を拡大していこう」。沖縄の福祉施設関係者の思いを込め、3年計画で2018年にキックオフした「パワーアップフォーラムin沖縄」ところが、コロナウイルスの蔓延により、集大成となるはずの2020年の開催は延期に。あれから約2年間の時を経て今年2月4日、オンライン形式にすることでようやく開催できました(詳しい様子はp8・p9を参照)。

このフォーラムの実現に尽力されてきた実行委員長の比嘉美み子さんと(株)ゆにばいしがきの津嘉山航さんを、山内理事長がオンライン座談会に招待。コロナ禍の2年間の苦労と、それをどうやって乗り越えてきたのか。さらに、ウイズコロナでの施設運営や利用者さんの仕事の拡大に、今後どう取り組んでいきたいのかなどを伺いました。

また、沖縄ヤマト運輸労働組合の玉城清志委員長にも参加いただき、地元沖縄で日々の業務を通して気づいたこと、今後の支援のあり方などについても話題を広げました。

# コロナ禍でも 利用者さんの働く生きがい を守り通す姿勢は変わらない

山内理事長



## 沖縄で障がいのある方の就労支援に 正面から取り組む二人の経営者

山内雅喜理事長(以下、理事長) みなさんご多忙の中、ご参加いただきありがとうございます。本日は最初からミュートを外して、雑談感覚で気軽にトークしていきましょう。まずは自己紹介からお願いします。

比嘉み子氏(以下、敬称略) 私は、名護市でダスキン加盟店や化粧品関連の販売会社を経営しています。現在、雇用している障がいのある方は8人です。私も津嘉山さんも中小企業同友会という中小企業が集まった全国組織に属しています。ここには、障がい者問題委員会という専門委員会もあり、沖縄でもこの委員会を18年前に立ち上げました。その目的は、障がいのある方に関わるさまざまな障壁やバリアを、経営者の立場で解決していく、垣根を低くしていくことです。

理事長 事業所も運営されていますね。

比嘉 名護市には、就労を希望する障がいのある方がたくさんいらっしゃいますので、働き始めるための準備を行うA型事業所を6年前に設立しました。こうしていろいろな角度から障がい者雇用に関わってきたことで、一番変わったかなと感じるのが、社内の風土です。だれもが快適に働ける環境をどうやって整えていくか。みんなで作って変えていくことで、座学では得られない社員教育ができたのではないかと思っています。

理事長 津嘉山さんは、どういった活動をされているのですか？

津嘉山航氏(以下、敬称略) 私は、八重山地域で障がいのある方だけではなく、幅広く求職困難者の就労支援に携わっています。みな

さんは「もっと働きたい、自分の役割や生きがい、夢をつかみたい、なかにはおうちを建てたい」などいろいろな希望を持っている。その夢がかなえられるような会社運営をしたいと、同友会にも入りました。

理事長 津嘉山さんの会社は、株式会社でしたね。津嘉山 当社は就労支援、就労訓練、グループホーム、子育て支援、保育所の経営など、多角的に事業を行っています。株式会社にしたのはこれらの経営を、スピード感を持って判断していけるからです。

理事長 玉城委員長も自己紹介を。

玉城清志氏(以下、敬称略) 沖縄ヤマト運輸労働組合執行委員長を務めています。生まれは北部の国頭村の安波という小さな集落です。安波は自然豊かなところで、安波川と普久川という大きな川があり、その二つに大きなダムを建てて、県民のために水を供給していますので、安波の方には足を向けて寝ることのないよう、お願いします(笑)。

理事長 沖縄では、水の確保も深刻な課題ですからね。では本題に入りましょう。

## どんな状況でもだれ一人 取り残さず守り抜く覚悟

理事長 コロナウイルスが、国内に感染拡大して2年。感染の波が引いたかと思うとまたやって来るの繰り返しで、いまも日本中で大変な状況が続いています。なかでも沖縄県は、オミクロンが全国に先がけて広がり、他にはない苦労があると思いますが、現在はどういった状況なのでしょう？

比嘉 3月に入っても、まだ感染者数が急激に減少する気配はありません。子どもさんの感染が増え、在宅ワークで家族感染が広がっ

ているようです。

**津嘉山** 私たちの周りにも、濃厚接触者になったという方が何人かいらっしゃいます。

**理事長** 利用者さんは、作業所に来所されていますか？

**比嘉** はい、みんな仕事を休みたかない、仕事がないより楽しみという人ばかりなんです。

**津嘉山** 우리는医療機関がない離島なので、一人でも感染すると大変なことになりますから、安全のために、一時は事業所を閉じていました。でもご家族がずっと一緒に家にいらっしゃるわけはありません。本人たちも製造するとか、販売活動をするのが生きがいになっていくから、ここに来て働きたいんです。ご家族やご本人のニーズに合わせて、いまは可能な限り通えるようにしています。

**理事長** この2年間で、事業経営にもいろいろ

るな影響、変化があったと思いますが、どういった考え方で取り組まれてきたのでしょうか。

**比嘉** 私たち経営者の役割は「仕事をつくること」です。「働き、歩み寄って、育ち合いをしていく」。これをしっかりと続ける責任があります。そのためにいろいろな会社をつくってきたわけですからね。私たち経済団体は、社員みんなを大事なパートナーだと考えています。だからどんな状況にあっても、だれ一人として取り残さず守り抜く覚悟です。

**理事長** 売上状況はどうですか？

**比嘉** 沖繩は観光が柱ですから、売上に大きく響いています。ダスキン事業部の売上は45%ダウン、清掃や畑作業を行うA型事業所のやんばるステーションは半分に。地元の特産物で化粧品を作っている会社は80%もダウンしています。仕事がまったく動かなくなっていましたというのが実情です。

**理事長** かなり厳しいですね。

**比嘉** それでもみんな仕事をしたいと口を揃えて話します。特にA型事業所に通われている方は、ずっと自分の仕事を得られたという喜びがあって、休みたかないんです。仕事を通して自分の存在意義がわかっていた、人の役に立つ喜びをみんな分かって合えるようになってきた。だから仕事を楽しみ、一所懸命に頑張つてスキルも上がっていく。そんな好循環を本人も私たちも感じているんです。

**理事長** 働くことで、社会に役立つ幸せを噛み締めているんですね。

**比嘉** その気持ちを無下にはできませんから、いままでやったことなかったマスクの制作とか、端切れを持ち寄つてのものづくりとかも始めてみました。すると「この人は、こんなにミシンが上手なんだ」とか、みなさんの意外な能力が見えてきたんです。いままで清掃や農業の仕事しかなかったのですが、仕事の種類を増やすことで新しい能力が、新しい手応えが引き出されました。これはこれだけで得るものがあつたと感じています。

**理事長** 悪いことではないと。

**比嘉** そうですね、A型事業所は最低賃金を保障させてもらっていますので、それだけの仕事をつくつていかなければなりません。そのためには、地域の方とよりに連携していくか、その大切さ、ありがたさを痛感した2年間でもありました。また財務的にはかなり厳しいですが、これから先も仕事を続け、徐々に回復していくなかで、バランスを見極めて支援していくことが大事だと思っています。

**理事長** 大変だったけれども、経営者として新しい仕事をつくっていくことにより、自分

たちが知らなかった新しい面を引き出すことができたというのは、素晴らしい気づきですね。全国の福祉施設が新しい仕事を見つけて、出そうと苦労していますが、比嘉さんが新しい仕事をつくるためにいろいろな方と連携されてきたこと、どんなことをやると良いのかなどのポイントを教えてください。

**比嘉** 仕事は地域と深く関わることで生まれてきます。自分たちの周りの町にどんな課題があるのか。そういうことをつねに掘り起こしながら、私たちは学んできました。課題を足かせと見るのか、ジャンプするためのバ

voice



## 目の前にある課題を 足かせと捉えるか 飛躍のバネと考えるか

比嘉 糸み子さん

(有)やんばるライフ 専務取締役・  
(同)やんばる彩葉 代表 比嘉 糸み子さん

### 地域の一員として働くことで喜びも増していく

愛知県出身の比嘉さんは、1973年に結婚し、沖縄県に移り住んできました。1984年にダスキンフランチャイズ加盟店を創業。2004年、創業20年の節目の年から、障がい者雇用を開始します。

「彼らのひた向きな取り組み姿勢に、私も社員も心を動かされました。」

比嘉さんは、より多くの障がいのある方に働く場を提供したいと、地域の企業と力を合わせ、2010年にアセロラを使った化粧品などの販売を行う「合同会社やんばる彩葉」を、2013年には、就労継続支援A型事業所「やんばるステーション」を設立。

「どんな障がいがあっても工夫次第で関わられる仕事があると気づきました。人はだれもが働くことで周りに認められ、故郷の一員として役に立つ喜び、幸せも得られると思っています。」



voice

## 社員の人生を照らす 物語の舞台を作る それが経営者の役割だ

津嘉山 航さん

で製造して企業に卸し、販売いただいています。これが順調で、人づてに広がりも生まれ、別の会社から「一緒にクッキーをやってみませんか」と声をかけていただきました。製造するにあたり、クッキーのデザインやレシピを担当された県外のパティシエが、わざわざここまで来て指導していただけたんですよ。

**理事長** ありがたい話ですね。

**津嘉山** その方は、地元の障がい者事業所の支援にも入っているということでしたが、人の繋がりのありがたさを改めて感じました。

**理事長** 大切なのは、その出会いをどう生かせるかでしょうね。

**津嘉山** 観光業は水物なだけに、それだけに頼っているのはダメなんです。やはり新しいことを考えていかないと。新聞配達の仕事も始めていますが、これは地元の絆があってこそ。いろいろな方と出会うことで、また新しい人も繋がっていきける。そこから新しい事業も生まれ、結果として障がい者の働く場が広がっていくんです。

### 障がいのある方が、個性を生かし働いていけるたくさんの受け皿を

**理事長** お二人に共通しているのは、利用者さん一人ひとりを見つめ、働く生きがいを広げていこうとしていること。利用者さんとの思い出に残る出来事などはありますか？

**比嘉** 沖縄では、お盆になると仏前にお供えするためのギフトがたくさん出ます。それが一時期、儀礼廃止みたいな風潮になり、ギフトが例年の半分くらいに減ってしまいました。すると「会社がつぶれたら大変だ」と、あたる知的障がいの方が、休みの日にバスに乗って特別支援学校でお世話になった先生方を

ネととらえるので大きく変わると思うんです。できれば全国の仲間と情報を共有し合いたい、仕事も紹介し合う。問題もチャンスも一緒に抱え込まないで、みんなで解決し達成していくということが大事ですね。すぐに成果が出なくても水平分業を頭に置くと、より良い連携ができていくのかなと考えています。

### 人との出会いを繋いでいくことで新しい事業のチャンスも生まれる

**理事長** 津嘉山さんはいかがですか？

**津嘉山** うちが農業が事業の柱ですが、観光と障がい者支援、障がい者就労をマッチングさせるいろいろな事業もやっています。ですから、収入はがた落ち。平均で40%減、酷いときは6割強も減少しました。未だに影響は続いていますけど、それでも私たち経営者は、社員を不安にさせないために、うつむいて

なんかいられない。私は竹富町から委託を受けて保育所のお子さんの支援もやっています。子どもたちに会うことで、日々前を向いて頑張るパワーをもらえていますよ。

**理事長** たとえば、観光ではどんな事業を？

**津嘉山** 今日は、西表島の保育所にきていますが、島にはうちのアンテナショップもあり、観光客に向けて、自分たちで作った商品や西表島の作家さんの商品を販売しています。コロナ禍で売上がほぼゼロになっていたのですが、本日テナントの職員から、少しずつだけ回復していると報告を受けました。

**理事長** 改善の兆しが見えてきたんですね。

**津嘉山** 新しい仕事もスタートしています。石垣島の会社から、沖縄方言で「はちやぐみ」という昔ながらのポン菓子（OEM）の依頼を受けました。全部島のお米、黒糖、お塩を使って、我々障がい者施設が自分たちの加工場

(株)ゆにばいしがき  
代表取締役 津嘉山 航さん

### 八重山地域を元気に！ 人と島の魅力を生かす仕掛人

東京で障がい者福祉施設の仕事に従事し経験を積んだ津嘉山さんは、八重山圏域初の相談支援員として石垣島にUターン。2009年に(株)ゆにばいしがきを創業します。目指すのは、障がい者だけでなく、ひとり親や高齢者などの就職困難者などの就労支援です。「後継者不足に悩む農家と、働きたくても職場のない方たちを繋ぎ、八重山地域を活性化したい」と本島から400kmも離れた石垣島で5000坪の観光農園を経営。マンゴーなどの熱帯果樹を柱に南国特有の風土・気候を生かした作物を栽培しています。島の特産物などを大原港のショップで販売する就労継続支援B型事業所「スオウの木」、就労のための技能を身につける就労移行支援事業所「ゆにばりー」も運営。他にも島の障がい者や子どもたちを守るための事業などを多角的に展開しています。

回り、ギフトの宣伝をしてくれたんです。あとでそのことを先生から伺い、だれかに言われたのではなく、自分で気にかけて動いてくれた、そんな気持ちが芽生えてくれたことを、とてもうれしく思いました。

**津嘉山** 私は20年前に石垣島にUターンして来ましたが、その前から東京、埼玉で障がいのある子どもたちの療育に携わる相談支援をしていました。どの親御さんも等しく願っているのは「この子たちが、やがて親元から離れて自立できるように、働く場所・住む場所がほしい」という切実なもの。私が行ってきたのは、そんな

な声に応える受け皿づくりです。ここで最初に支援した赤ちゃんたちもいまでは20歳過ぎ。なかには私と一緒に社員さん、障がい者スタッフとして関わってくれている方もいます。そんな彼らに、これからの地域の受け皿づくりを託していきたい。私は、そのきっかけを作る仕掛け人でありたいのです。

**理事長** その一つが居酒屋ですね。

**津嘉山** 農園で働く視覚障がいの方で、とてもうまく民謡を歌う方がいます。でも合併症で体力的に農園の仕事が続けられそうになくなってきました。「自分は元々歌手を目指してただけで、諦めて帰ってきた」と聞き「じゃあ、うちで居酒屋をつくろう、君が店長になってくれ」と話したんです。夜に元気な障がいのある方もいらつしやいますし、ちょうど良い。三線と歌が聴ける居酒屋は、観光客から地元の方までリピーターも増えて繁盛していききました。でも、コロナ禍で経営が厳しくなり、いまは閉店しています。

**理事長** ご本人は、かなりショックなのは。津嘉山 閉店は、彼から言ってきたんです。もうほとんど目が見えなくなり、店長は続けられそうにないと。私は「それならいつか真っ暗なレストランを作ってみようよ」と、彼が次に活躍できる場所を考え始めました。障がい者スタッフや社員さん一人ひとりに物語がある。その人生を明るく照らしていくことが、経営者の役割だと信じています。

**比嘉** 受け皿を作ると言う点では、ヤマト福祉財団さんに支援いただいた「ゆいジョブ！」<sup>※1</sup>が大きな役目を果たすと考えています。これは「働きたい障がい者や支援する事業所」と、障がい者を雇用したい、また障がい者施設に仕事を頼みたい企業」とを結び、マツ

チングサイトです。私たちが同友会に委員会をつくった18年前、沖繩は実雇用率が全国ワースト1でした。私たちは、その改善を目的に雇用就労支援フォーラムを各地域で開催する活動をしてきました。しかし、県内で仕事を求める障がいのある方の人数は、まだ約5800名もいるんです。それを一気に解決はできませんが、ゆいジョブ！の活用が広がることで、障がいのある方と企業の距離が縮まり、たくさんのお会いが広がっていくはず。また、ゆいジョブ！の繋がりを生かして、コロナ禍で商品の出先に困った事業所が協力し合い、マルシェの開催なども実現していく、そんな沖繩県の障がい者福祉事業のコアに発展していくてくれたらと期待しています。

### 義務感ではなく使命感を持ち 継続して行動し続けていこう

**理事長** 玉城委員長には、沖繩のヤマト運輸の状況を伝えてもらいましょう。また、お二人のお話を聞いた感想も教えてください。

**玉城** コロナ禍で現場のドライバーさんは、感染リスクを背負いながら頑張っていて配達しています。しかし、お二人のお話を聞かせていただいていると、こんなことで負けていけないですね。比嘉さんは、40%売上が落ちても給料を下げないで、経営者の責任として不動産を処分してでも資金のやりくりをされているとも伺いました。では私たちにどんな支援ができるのか。それはやはり1987年にヤマト運輸労働組合がはじめた夏のカンパ運動であり、私たちも1994年から参加させてもらっています。ヤマト福祉財団の大学生の奨学金制度で、去年はじめて琉球大学の学生に授与できたとき、このカンパの話

をしたんです。すると講師のみなさんから「これだけ長い期間やっているのはすごい」と言われ、続けていく大切さを改めて認識し、今後も全面的に協力していきたいと強く思いました。

**理事長** 夏のカンパを毎年続けていただきありがとうございます。今回のゆいジョブ！もそうですが、財団がいろいろな支援活動をしてきているのも、組合員のみなさまからの夏のカンパをはじめとするご寄付による財源があるからこそです。みなさまからの思いを大切に、今後も活動を続けてまいります。

では最後に一言ずつメッセージをいただいて幕を閉じましょう。

**津嘉山** この2年間で痛感したのは、人と人の繋がりが、人の温かみの大切さです。今後も人と人が寄り添い、お互いが支え合えるような関係を築き続けたいと思っています。

**玉城** 今後は、地域に貢献するため、コロナ禍に則した具体的な行動を進めていくつもりで

す。観光客が減り、一次産業の黒糖などのお土産が売れず農家が困っていると伺ったときは、組合でまとめて購入して組合員に配布しました。また、障がい者雇用でも沖繩ヤマト運輸もぜひ協力したいと考えています。

**比嘉** ありがたいお話です。私たちが忘れてはならないのは、なんのために、だれのために動いているのかということです。ゆいジョブ！も実行委員たちが、義務感ではなくて、使命感を持って動いてくれたからこそ形になりました。今後おぼろげなことなく、地域が一体となり、しっかりと持続していくことで、必ずなにかが変わっていくと信じています。

**理事長** みなさんからいろいろな現場のお話を伺えて、充実した時間となりました。コロナ禍で同じように苦労している全国の福祉施設関係者にとっても、良い励みとなる情報を共有できたと思っています。これからも健康にご留意されて、頑張ってください。本日は、ありがとうございます。



voice

コロナに立ち向かったお二人の話を知ると、私達も負けてはいられませんね。地域に貢献するため、私達も行動を進めていきます。

玉城執行委員長

※1)「ゆいジョブ！」については、p9で詳しく紹介しています

# チバリヨー！ 沖縄 コロナ禍をこえて



東京会場と沖縄の実行委員をつないで2年ぶりに盛りだくさんの内容で開催。玉城デニー沖縄知事からビデオメッセージをいただきました。

2月4日、コロナ禍で延期となっていたパワーアップフォーラムin沖縄をライブストリームで開催しました。  
「大変な時期ですが、私たちは立ち止まっていられません。実行委員たちは、たくさん参加施設と一緒に、いろいろなアイデアを出し、アクティブに動き続けています。今日はその集大成です。沖縄の福祉関係者の思いを代表した実行委員長の比嘉あみ子さんの言葉でフォーラムは開幕しました。」

## 企業とコラボしながら笑顔で頑張る 利用者さんと福祉施設の姿を全国に発信

「いま沖縄県で就労先を待つ障がいのある方は、約5800人と過去最高の人数です。だれ一人取り残さないで、安心して働ける支援を。そんな目標に向かって頑張る福祉関係者を、私は応援していきます」と沖縄県知事の玉城デニー氏から応援ビデオメッセージが届きました。

山内理事長も「変化が起きるときは、ピンチでもあるけどチャンスでもある。いまこそみんなで前へ向かって進んでいくときではないでしょうか」とエールを贈りました。

続いて、きょうされんの藤井専務理事が聞き手となり、比嘉実行委員長（株）ゆいばいしがきの津嘉山 航さん、（社）福若竹福祉会の村田 涼子さんたちとトークセッションを開催。村田さんは、仕事のほとんどが、ストップしています。でも先人たちは、もつと厳しい時代を乗り越えてきた。そこからいろんなことを学び、他の事業所や地元企業と連携し、みんなで利用者さんの未来を切り開いていきたい」と話しています。

沖縄の実行委員たちは、食文化を生かしたアンテナショップづくり、観光業と運動してガチャを使った事業所商品のPRを進めてきました。そして第2分科会では、障がいの

ある方・事業所と企業を結びビジネススマッシングサイト「ゆいジョブ！」を立ち上げ、運営を行っています。

ゆいジョブ！では、企業と事業所・当事者がリアルに対面しマッチングできるイベントも企画。「何度準備しても、その度にコロナで中止になりましたがあきらめずに、必ず実現してみせます」と報告しました。

さらに宮古島や那覇市の三つの事業所とネットで繋ぎ「いろんな働くを応援する就労支援事業所」の事例を紹介。それぞれの事業所での活動や利用者さんの働きぶりなどを伝えました。利用者さんが作った野菜や商品を納めるレストランやホテル、仕事をいただいている旅行代理店など、コロナの影響を正面から受けてしまったパートナーばかりですが、この難局を一緒に乗り切ろうと企業と福祉施設が力を合わせています。

また「働きがい」をかなえる「一般就労」として二つの企業の雇用事例も紹介。障がいのある方に安心して働いてもらえるように、食品製造業では働きやすい工場環境、地元新聞社ではテレワーク体制などの企業の取り組みを紹介しました。

そして最後に、大勢の利用者さんと職員によるファイナーライブへ。楽しそうに歌い、演奏し、踊る姿を、全国の同じ境遇で頑張るみなさんへお届けしました。



公式サイト



Twitter



Instagram



Facebook



ゆいジョブ!公式サイトでは、「おきちゃん調査隊がゆく!!」がアップされています。QRコードからご覧ください。

「ゆいジョブ!」をスタート!

沖縄には「障がい者を雇用したい。福祉事業所に仕事をお願いしたい」と考える企業と「障がい者の一般就労先を見つきたい。利用者さんにもっと仕事を提供したい」と願う事業所がたくさんあります。でも互いの存在を知らないままになっていくことも。そんな両者を繋ぐために誕生したビジネスマッチングサイトが「ゆいジョブ!」です。

「ゆいジョブ!」の名前は

「ゆいジョブ!」は、沖縄の方言「ゆいまーる(助け合い)」と英語のジョブ(仕事)を組み合わせたネーミング。ここには「福祉事業所と企業がともに助け合いながら、だれもが豊かな人生を送っていけるお役に立ちたい」とそんな思いを込めています。

互いに知りたい情報を共有

企業は「うちが雇用したい人材を、どの就労支援事業所で探すと良いのか。また、うちの仕事を安心してお願いできるのは、この福祉事業所なのか」が、なかなか見えずに困っています。

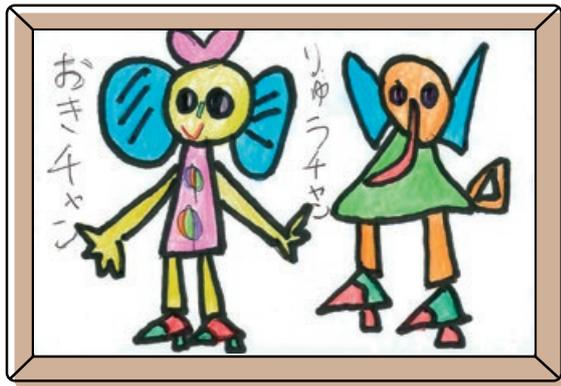
一方、就労支援事業所も「この企業は、どんな職種で、どの仕事を任せたいのか。どんな体制で迎えてくれるのか」がわからなければ、利用者さんの未来を託すことはできません。ビジネスパートナーとして一緒に仕事をしていく上でも、同様に情報が必要です。

そこで、双方が必要な情報をわかりやすく共有できるように、ゆいジョブ!スタッフが沖縄中を飛び回って取材し、サイトに掲載しています。

取材でこだわっているのは、仕事に対する熱い思い、誇りを持って仕事を楽しんでいる姿を伝えることです。

でもそれだけでは、いま一歩、互いに歩み寄る勇気がわかないことも。そこで、働き手を探している企業、仕事を探している事業所、双方がリアルに出会えるイベントの開催も計画。他にも、障がい者が働く企業や事業所が生産した商品を販売するマルシェも開催し、盛り上げていこうとしています。

私たちの隊長「おきちゃん」です!



玉城 里奈さんの描いたイラストからおきちゃんは誕生しました

ゆいジョブ!のイメージキャラクター「おきちゃん」です。生みの親は、社会就労センターわかたけの玉城里奈さん。実行委員たち6事業所の利用者さんが考えた計43案のなかから選ばれました。デザイナーさんにきれいに仕上げてもらったイラストを見て「おきちゃんを私たちの隊長にしよう!障がい者を応援している企業や事業所、そしてみんなの働く姿を、SNSも活用して幅広く発信していこう!」と盛り上がっています。



# 障がい者給料増額支援助成金が決定しました

障がいのある方々の給料を増額するための新事業の立ち上げや、生産性向上に必要な設備や機器を購入する資金を助成します(400万円以上の助成先を紹介します)。

## フロンティア(北海道白老郡)

500万円

### 量産化に必要な機器の購入

- 2020年度平均給料 ..... B型40,563円(26人)
- 2023年度目標給料 ..... B型62,500円(30人)

### 健康野草茶で工賃アップ

フロンティアでは、アイヌ民族が暮らしていた白老に根ざした仕事づくりを基本としています。これまで自然に自生しているイタドリやエントを健康茶として販売し、「民族象徴空間ウポポイ」が白老にできたことで飛躍的に伸びましたが、生産が追いつきません。3haの農場の有機認証は取りましたが、地元の企業からのOEM受注に応えられない状況です。収穫した作物の乾燥、粉碎、焙煎、袋詰めなど、助成により大量生産を可能にする機械を導入し、利用者さんの大幅な賃金アップにとどまらず、アイヌの食文化を日本中に広める大きな力となります。

## 一粒舎(千葉県木更津市)

445万円

### 3トンドンプトラック購入資金

- 2020年度平均給料 ..... B型43,078円(21人)
- 2023年度目標給料 ..... B型50,000円(20人)

### 得意分野の除草仕事でもう一本の事業の柱を

一粒舎では農業を使わないブルーベリーの栽培と観光摘み取り園事業(1.2ha、1200本)を行い、六次化も進めています。しかし異常気象が続き、ブルーベリー収穫が不安定で収入の柱を複数にする必要が出てきました。じつは、地域の高齢者から頼まれる除草仕事が評判となり、木更津市営住宅の除草も委託されるようになりました。除草仕事は一粒舎の得意仕事であり、高い収益性もあります。助成によりダンプトラックを導入することで、除草だけでなく竹や雑木の伐採等、新たな仕事も拡大し工賃引き上げの財源確保としていきます。

## きぼうのあさがお(福島県南相馬市)

500万円

### フリーズドライ機械、急速冷凍庫購入

- 2020年度平均給料 ..... B型40,071円(36人)
- 2023年度目標給料 ..... B型41,500円(38人)

### 青ばた豆のおつまみをあさがおブランドに

東日本大震災時には行き場を失った障がい者を積極的に受け入れ、青ばた豆を有機栽培し、豆腐、味噌などに加工販売して利用者工賃としてきました。コロナ禍で行事がなくなり、サービスエリアの売上も激減。内職等の仕事もなくなりました。以前からおつまみをつくらうと、青ばた豆のフリーズドライ加工を外注しましたが原価が高く、小さな器具では少量しか生産できません。助成でフリーズドライ機械等を導入し、あさがおブランドとして、また、果物のパウダー加工、避難食の加工など地域に貢献できる製品をつくり、利用者工賃向上を目指します。

## Farm Agricola(北海道石狩郡)

403万円

### 攪拌混合器・スクリュコンベア・粉碎器の購入

- 2020年度平均給料 ..... A型 76,473円(14人)
- 2023年度目標給料 ..... A型101,065円(18人)

### 一万羽養鶏規模拡大で利用者の固定給10万円・社会保険完備の実現を

Farm Agricolaは数百羽規模からスタートし自家配合飼料で平飼い飼育を進め、現在、ビニールハウス8棟で、4,200羽まで養鶏規模を拡大してきました。平飼い卵の認知度が広まり、需要も拡大。毎週1000パックの商品を提供していますが、現体制では対応が間に合わずお客様のニーズに100%応えられていません。

平飼い卵の需要拡大に備え、日本有数の平飼い養鶏場の実現を見据えて、段階的な規模拡大を計画しています。しかし、2023年に7,000羽、2025年には10,000羽へと拡大するためには、自家配合飼料の製造が、現在所有する飼料製造機械では対応が難しい状況です。

助成で、1万羽の自家配合の飼料製造を実現する、粉碎器・スクリュコンベア・攪拌機を導入。質的にも量的にも生産性を向上させ、手作業で行っている飼料の投入や計量作業も機械化し、効率化を図ります。これにより、7,000羽で、現在の約1.77倍、10,000羽で約2.4倍となるため、ニーズのある定期取引先だけでなく、それ以外にも自社サイトや産直ECサイト、ふるさと納税、飲食店など、目標販売数は十分達成できます。機械の導入、作業量の増加、販路の拡大など、課題は多くありますが、利用者さんの固定給10万円、社会保険完備で安心して暮らせるよう、挑戦を続けていきます。

## 栗源第一薪炭供給所(千葉県香取市)

500万円

### トラクターおよび堆肥散布機購入資金

- 2020年度平均給料 ..... B型23,773円(13人)
- 2023年度目標給料 ..... B型34,091円(22人)

### 大型トラクター導入で収量大幅アップ

栗源第一薪炭供給所はサツマイモの栽培を中心とした農業と林業を行っています。林業では、約30haの森林保全管理を行い、森作りから薪と家具の製造販売を目指し、行政と森作りを考える活動までに発展しています。

香取市はさつまいもの名産地で、農業ではベニアズマ、ベニハルカ、ベニコマチ、シルクスweetの4種のサツマイモを3haで栽培。近隣の農家の指導を受けながら、長年サツマイモ栽培を続けてきた畑に、有機物やミネラルを混ぜ込みながら、豊かな土壌を作り、サツマイモの品質向上を行っています。

現在農業機械を近隣農家から借り受けて作業をしており、効率的に支障があります。助成により57馬力のトラクターと土壌改良のための堆肥散布用機械を導入。作業の効率化を図り耕作面積を増やしていく計画です。今後新たに3haの畑を借り受け、現在の2倍の6haへ拡大。サツマイモや落花生の栽培を行うことで、農業生産額を年間1,000万円増やすことが可能になります。収量が増え選別や加工作業を通年にわたって増やすことができるので、利用者を増員し3年後には工賃を現在より13,000円増額を見込みます。

## 大夢・プチ大夢(沖縄県うるま市)

400万円

### パミスサンド栽培をするための資材・設置に係る資金

- 2020年度平均給料 ..... A・B型54,743円(53人)
- 2023年度目標給料 ..... A・B型63,128円(60人)

### パミスサンド栽培で安定供給

ネギを中心に季節野菜やハーブ類の栽培を行い、県内のスーパーやホテルなどに出荷しています。ネギに関してはパミスサンド栽培(土を使わず軽石などを使う養液栽培)を行い、安定した出荷をしていますが、土耕栽培を行っている葉野菜やハーブについては安定した収穫ができていません。助成で他の野菜もパミスサンド栽培に変更し、売上アップを図ります。

## 夢工房どうで(奈良県山辺郡)

494万円

### 動物ふれあいコーナーおよび農産物加工厨房の整備

- 2020年度平均給料 ..... B型30,000円(19人)
- 2023年度目標給料 ..... B型37,955円(22人)

### 加工品製造の本格化でリピート客の増大

産直施設と小動物園を地域の交流拠点として運営していましたが、コロナ禍で来店者が激減。テイクアウトや加工品の製造販売など進めてきましたが、どれも対策にはならず、工賃支給に支障が出る可能性が出ていました。助成により、加工品製造を本格化させるための機器を導入。小動物園を「体験できる動物園」に整備して、リピート客の増加を図り、併設の産直施設の売上向上につなげます。

## Sa.おいでや内子(愛媛県喜多郡)

500万円

### 菌床栽培施設の規模拡大に係る整備資金

- 2020年度平均給料 ..... B型26,804円(35人)
- 2023年度目標給料 ..... B型27,132円(43人)

### 菌床椎茸栽培施設の拡充で140%の増産

菌床椎茸栽培を始めて3年。さまざまなトラブルを乗り越え、取引業者も徐々に増え販路も安定してきましたが、現在の栽培環境ではこれ以上の増産が見込めません。助成により栽培施設の拡充を図ります。栽培用菌床ブロックを増やし、温度管理等栽培環境を整えることで、約140%の増産を見込んでいます。これにより、利用者さんへの安定的な作業提供と工賃アップにつなげます。

## パン工房あんびしゃす(北海道札幌市)

415万円

### 厨房機器購入資金

- 2020年度平均給料 ..... B型20,030円(10人)
- 2023年度目標給料 ..... B型25,008円(13人)

### 店頭販売・外販営業拡充に向けて

厳選素材を使用した高級食パン専門店とカフェを運営しています。コロナ禍によりイベントの中止、外販先の減少、来客数の減少で売上が減少しています。助成によりコンバクションオープン・スーパーシート・ドウコンデショナーを導入し、パンの製造種類を増やし、製造量をアップさせ、月25%の売上増を見込んでいます。パン・カフェの新作メニュー開発にも積極的に取り組みます。

## ラボラーレ登米(宮城県登米市)

484万円

### 新規事業に必要な機器などの購入

- 2020年度平均給料 ..... B型26,122円(40人)
- 2023年度目標給料 ..... B型28,799円(42人)

### 新規事業で地域へ貢献、経済的自立を

現在の厨房事業では工賃アップが望めません。そこで福祉施設を対象としたミールキットの販売を新規事業として立ち上げることにしました。助成でプラスチックトレー、真空包装機、スライサー、ミキサーなどを導入し、23年に270食、25年には上限の540食を製造。厨房職員が不足する高齢者施設、病院や児童施設など地域施設への貢献と、利用者のやりがいをつくり工賃アップを目指します。

## フラワーパークのぞみ工房(宮城県西白柵郡)

450万円

### 業務用洗濯機、乾燥機購入資金、設置のための工事代金

- 2020年度平均給料 ..... B型31,373円(15人)
- 2023年度目標給料 ..... B型38,125円(20人)

### 洗濯事業参入で「工賃を稼ぎたい」を叶える

原木椎茸栽培、草刈りや掃除等を行っていますが、さらなる工賃アップのため、昨年10月より郡内の3病院の病衣・タオル等の洗濯作業を受注しました。現在は家庭用の洗濯機2台と乾燥機1台で行っているため、作業量に限界があります。今後洗濯量が増えることも予想されるので業務用洗濯機・乾燥機を導入することで、大量の量をこなすことが可能になります。

## メイプル滋賀工場(滋賀県草津市)

500万円

### 高精度切断機導入

- 2020年度平均給料 ..... A型170,524円(21人)
- 2023年度目標給料 ..... A型168,000円(25人)

### 建材からアルミ加工品へ

メイプル滋賀工場ではアルミサッシ関連製品を主力事業として、利用者さんは切断、加工、組立、養生、出荷等を担っています。近年建材関連が減少し、時短作業をせざるを得ません。そこで、建材以外のアルミ加工品(自動車、家電、半導体等)の受注に向けて動いています。現状の切断機では対応ができないため、助成による高精度切断機の導入で精度を向上させ、賃金向上へつなげていきます。

## 第2ふみだす(北海道伊達市)

420万円

### 食品製造に係る二ーダー機購入資金

- 2020年度平均給料 ..... B型・生活27,079円(53人)
- 2023年度目標給料 ..... B型・生活29,514円(54人)

### 食品製造加工品の品種拡大で安定した工賃支給を

第2ふみだすでは、食品製造加工や青果の袋詰め作業などを行っています。コロナウイルスの影響により減収、工賃支給も厳しい状況です。少量の製造で大きく収益が上げられない、1品ごとに製造を行っているため他の製造を行うゆとりがないなどの課題があります。助成で大型自動攪拌機を導入し大量製造を可能にして、製造品目を増やし販売先を拡大させ収益増を見込んでいます。

# 2022年度 ヤマト福祉財団助成金決定一覧

(助成金額合計：1億4,126万円)



## I. 障がい者給料増額支援助成金 決定一覧

単位(万円)

所在地	福祉事業所・団体名	助成対象	決定金額
北海道石狩郡当別町	Farm Agricola	飼養羽数増加に伴う配合飼料量増加対応に向けた攪拌混合機・スクリュコンベア・粉砕機の購入資金	403
北海道白老郡白老町	フロンティア	量産化に必要な機器の購入資金	500
北海道伊達市	第2ふみだす	食品製造に係る二ダマ機購入資金	420
北海道岩見沢市	patisserie空香	金属検出器購入資金	118
北海道札幌市北区	パン工房あんびしゃす	厨房機器購入資金	415
宮城県登米市	ラボラーレ登米	新規事業に必要な機器などの購入資金	484
山形県東根市	多機能型支援センター大けやきの家	スチームコンベクションオープンとオープンレンジの購入資金	74
福島県福島市	就労継続支援B型事業所べじわーく本内	胡瓜システム機器等の購入資金	300
福島県南相馬市鹿島区	就労継続支援B型さぼうのあさがお	フリーズドライ機械、急速冷凍庫購入資金	500
福島県喜多方市	フォルテ	パン・お菓子の移動販売用の車両購入資金	210
茨城県取手市	ポニーの家多機能	コーヒー焙煎機購入資金	50
茨城県日立市	L I B	干物の製造に使用する機器の購入資金	328
埼玉県朝霞市	ひまわり工房	汚物除去機の購入資金	189
千葉県香取市	栗源第一薪炭供給所	トラクター及び堆肥散布機購入資金	500
千葉県木更津市	一粒舎	3tダンプトラック購入資金	445
東京都世田谷区	しごとも	新規業務開始のための環境整備及び機器購入、年間ライセンス契約の資金	190
新潟県佐渡市	障がい者就労トレーニングファームチャレンジド立野	小型レトルト殺菌器とセラミカ熱成乾燥機の購入資金	350
長野県安曇野市	はたらく工房	プラストチラー・冷凍庫購入資金	240
愛知県江南市	くるみのお店	公園での清掃及び除草作業で使用する道具と運搬車の購入資金	250
滋賀県草津市	メイプル滋賀工場	高精度切断機導入	500
京都府綾部市	いかるがの郷	ゲームプリンタ(Tシャツ・トレーナー印刷用インクジェット型印刷機)・自動前処理機購入資金	229
兵庫県小野市	就労支援事業所宿花	土壌改良に必要な日立バックホークボタラクタ購入資金	350
兵庫県加古川市	一圭会加古川事業所	フェイスタオルたたみ機及び結束機導入資金	350
奈良県山辺郡山添村	夢工房どうで	動物ふれあいコーナー及び農産物加工厨房の整備資金	494
和歌山県日高郡美浜町	太陽作業所	作業場にするプレハブの購入資金	170
鳥取県米子市	障害福祉サービス事業所あんず・あがりこ	作りたてにより近い品質を保てるように急速冷却するプラストチラー&ショックフリーザーの購入資金	180
岡山県津山市	トラストワークスA型事業所	コンテナ、シーラー購入資金	70
広島県尾道市	すきっぱ	冷凍ピザ販売に関わる機材購入及び改装資金	330
山口県宇部市	緑豊舎	ミニバックフォア、油圧式フォークの購入資金	390
徳島県板野郡北島町	徳島北障害者支援センター	印刷機器購入資金	114
徳島県吉野川市	就労継続支援B型アトリエひまわり	椎茸発生室改修工事資金	200
香川県小豆郡土庄町	ひまわりの家就労継続支援B型事業所	剪定オリープ枝の粉砕機購入資金	60
愛媛県喜多郡内子町	Sa. おいでや内子	菌床椎茸栽培施設の規模拡大に係る整備資金	500
福岡県古賀市	なないろワーク	廃棄野菜を乾燥・粉末に加工する機械、及び出荷準備用機械の購入	228
長崎県諫早市	就労支援事業所みらい	花苗生産量拡大のためのビニールハウス導入資金	337
大分県杵築市	住吉浜リゾートパーク	キッチントレーラーの購入資金	350
大分県佐伯市	太陽農園	移動販売車購入資金	368
宮崎県西臼杵郡日之影町	フラワーパークのぞみ工房	業務用洗濯機、乾燥機購入資金、又設置のための工事資金	450
鹿児島県枕崎市	ふじ美の里	干し梅製造のための乾燥器具の購入資金	110
沖縄県うるま市	大夢・プチ大夢	バミスサンド栽培をする為の資材・設置に係る資金	400

## II. 障がい者福祉助成金 決定一覧

単位(万円)

所在地	福祉事業所・団体名	助成対象	申請区分	決定金額
宮城県気仙沼市	きこいろ片耳難聴のコミュニティ	「片耳難聴の啓発ショート動画」制作事業	ボランティア活動	36
宮城県仙台市若林区	特定非営利活動法人自閉症ピアリクセンターここねっと	障がい者の「親なきあと」について、親の想いと支援者のサポートを発信する事業	会議	75
栃木県宇都宮市	うりずん	卒園親子遠足～水族館を楽しもう！事業	文化活動	17
埼玉県本庄市	障害者支援施設ひまわり自立支援センター	強度行動障害者支援者養成研修受講後のフォローアップ研修体制の構築に関する研究	研究	93
埼玉県さいたま市南区	教育を軸に子どもの成長を考える会	発達障害児の具体的事例と効果的な考え方を共有するセミナー事業	講演会	75
千葉県千葉市花見川区	ちばAネット	A型利用者のためのフェスティバル「Aフェス2022 in ちば」イベントの開催事業(音響設備の購入資金)	文化活動	45
神奈川県横浜市長子区	親子区障害者地域活動ホーム	あいさつシリーズVOL.4「はく」のあたりまえはさきまのあたりまえとおなじようであつてだからおもしろい」	文化活動	81
神奈川県横須賀市	横須賀市ボランティア連絡協議会	あつたかハート交流会(障害者週間キャンペーンYOKOSUKAの一環事業)	ボランティア活動	9
神奈川県横浜市中区	一般社団法人スローコミュニケーション	書籍「10代からの困りごと解決ハンドブック～あなたがあなたらしく生きるためのライフハック(仮)」の出版	出版	100
神奈川県鎌倉市	NPO法人湘南バリアフリーツアーセンター	旅りハモデルツアーの実施ならびにインターネットによる旅りハモデルツアーの紹介	文化活動	100
東京都豊島区	NPO法人東京都自閉症協会	「自閉スペクトラム症の人の親を対象とした成年後見連続講座」	講演会	18
東京都世田谷区	CCHSファミリー会(任意団体)	重い障害を持つ方「働く」を応援し、社会での理解促進の動画制作	調査	96
東京都渋谷区	ダイバーシティキャリアセンター	精神・発達障害があるLGBTQの福祉利用にかんする調査	調査	100
東京都多摩市	特定非営利活動法人日本聴覚障害者コンピュータ協会	聴覚障害のある児童生徒が楽しく学べるプログラミング教室	ボランティア活動	100
東京都八王子市	八王子自助具工房フレンズ	木工レンタル工房の活用及び加工効率アップ器具(スライド丸鋸)消耗刃物等購入	ボランティア活動	20
東京都武蔵野市	視覚・聴覚障害者の学びを推進する会	盲文化・ろう文化セミナー	講演会	100
愛知県豊田県	特定非営利活動法人雪田ハンディキャップの会	障害のある人たちのよりよい就労に関する調査研究	調査・研究	90
愛知県名古屋南区	自立支援センターるっく	当事者による当事者のための「生涯学習セミナー2022」	文化活動	100
京都府宇治市	知的障がいと自閉症児のための読書活動を進める会	知的障害者の読書支援のための代読ボランティア養成講座学習用冊子の出版	出版	100
京都府長岡京市	E2拠点サークル	視覚障がい者への各種点字資料の提供	ボランティア活動	94
大阪府和泉市	特定非営利活動法人サポートグループほまほまの会	障がい者の意思決定支援のための「やさしい日本語」啓発・普及・研修事業	講演会	50
大阪府高槻市	発達障害児になる子どもと保護者のための支援室らいいさぽーと	発達障害児が安心して過ごせる環境を整え、個別の学習や余暇支援を年間を通じて定期的に提供する活動	ボランティア活動	12
和歌山県和歌山市	紀の国・和歌山脊柱靱帯骨化症友の会	当会による講演会と交流会、ミニ交流会事業、当会パンフレット作成	講演会	20
山口県萩市	あつたかマルシェ	あつたかマルシェ	文化活動	40
香川県高松市	災害弱者安心ネットワーク高松	地域で守ろう災害時要支援者の安全	ボランティア活動	17
香川県観音寺市	スポーツ委員会	あさいとスポーツフェスタ2022	スポーツ活動	20
愛媛県松山市	NPO法人シアターネットワークえひめ	障がいのある人のアート作品の展示と交流事業	文化活動	100
愛媛県伊予郡松前町	インクルーシブ・松山ヒカリのアトリエ	障がい者のアートと社会をテクノロジーで繋ぐ自立促進事業(展覧会・アーカイブ制作・アーカイブを活用)	文化活動	100
福岡県福岡市東区	福岡県立図書館音訳の会	今よりもっと!よりよい録音図書を提供を目指して	ボランティア活動	17
熊本県熊本市西区	特定非営利活動法人凸凹ライフデザイン	発達障害特性を考慮したWRAP実施の為のマニュアル整備事業	研究	100
沖縄県与那原町	沖縄キッズランニングスクール・車いす体験会実行委員会	沖縄キッズランニングスクール・車いす体験会	スポーツ活動	55

# 地域を守る役目を担う 農福に期待

農福連携実践塾の見学勉強会を昨年11月24～25日に、和歌山県有田市の早月農園で実施。収穫最盛期を迎えた、山間にある急斜面のみかん畑を見学しました。



事業所から車で15～20分。軽自動車1台がようやく通れる細い急な坂道を登って、みかん畑に到着。収穫最盛期には、畑までの送迎やみかんの搬出などに苦労している



品種を絞っていきながら、生産量のアップを



ハウスの中にはロマネスコなど珍しい野菜も



山間の急斜面に点在する、早月農園のみかん畑

みかん生産量日本一の有田みかんのまさに最盛期。早月農園は海から車で40分程走った山間にあります。廃校になった旧早月小学校を利用し、2012年に開所。5aの借地を開墾しながら農業がスタート。今では、みかんを中心に山椒畑、梅畑、野菜畑など約4.5haに拡大しています。

農地の拡大に伴い生産量も上がり、利用者さん20名、平均給料も3万円を越えるようになりましたが、現在の課題は生産量の平準化や、農地の点在化により効率的な作業が難しいことが挙げられます。

熊田塾長は早月農園の農業が充実している状況を見て、「これだけ条件の悪いところをやっているのはすごいこと。地域を守るという大きな役割を担っている。全国どこをみても、限界集落になってしまっている。そこを福祉力で守っていく。魅力あるところに変わってやるしかない。きつと良い結果が見えてくる」。講師の林さんは、「収益と工賃の目標をたてて、みかんに集中した方が収益は良いと思う。全体の現場がみられる範囲で、なるべく農地を集約していくように動いて、耕作放棄地も広がってくるのでそういう所を狙うのも大事」と話します。

他にも参加者から、体験ツアーの実施や、小

学生の収穫体験など、さまざまなアイデアも出てきました。地域を巻き込んでいったり、楽しくて、思わぬ広がりがあるのではないかと期待の持てる、見学勉強会となりました。

## 六次化プロジェクトで 事例集を制作発行

農福連携実践塾では農業を中心に取り組む「農業班」と六次化に取り組む「加工班」があります。

加工班の事業所は六次化に取り組んだいきさつも、地域も、内容も広がりも違いますが、それぞれが課題を解決しながら進んでいる経緯があります。六次化プロジェクトでは昨年5月から何度もオンラインミーティングや、取材を重ね、その取り組みを事例集としてまとめました。連携をキーワードにヒントやノウハウがたくさん詰まった企画です。



六次化レポート



利用者さんの給料増額に向かって

# 夢へのかけ橋 実践塾活動報告



2度目の緊急事態宣言が解除になった2021年11月、12月に、新しく厨房を建設、あるいは改修工事を予定する塾生施設へ塾長視察を実施。しかし、集合研修会を予定していた2月は再びのコロナウイルス感染拡大により、オンライン研修会となりました。

## 2021年11月26日 第3期楠元塾 塾長視察

### わーくる矢吹(福島県西白河郡矢吹町) 大量調理を目指して事業所を新たに建設

配食サービスの事業所として、新しい厨房を備えた配食サービスの事業所建設を進めている「わーくる矢吹」。新しい事業所ができる前に、楠元塾長に現場を視察していただき、新事業所の作業に活かして行こうと考えています。

「作業の途中で朝礼をすることで10食作れなくなるので、必要なら作業が終了してから。必要事項はみなさんが、見えるところで共有を」と、他にも手洗いや、エプロンの洗濯、床掃除の衛生面、盛り付けの仕方など、細かい指示をいただきました。現在1日平均180食を販売、塾修了時には220食を目指すわーくる矢吹。指摘を受けた部分の修正や新メニューなどの開発を含め、新しい事業所で本格スタートです。



## 2021年12月13日 第3期楠元塾 塾長視察

### かまて(島根県益田市) ボリュームあるメニューの開発で、 新規顧客の取り込みを

以前はコンビニだった場所を借りてお弁当の事業所としている「かまて」。駐車場も広く、トラックや車が常に通る国道沿いにあります。現在使っている厨房が狭いため、事業所の改修を進めています。入塾時は週3回の営業を週5日に増やし、口コミでお客様が広がって固定客も40に増えてきました。

「国道を走るドライバーさんなど、外部のお客様を取り込むために、唐揚げ弁当などボリュームのある弁当を開発した方がよい」と、楠元塾長。写真を見ながら、メニューについて、盛り付けについて詳しく解説をいただきました。塾修了時に利用者さんの平均給料3万円を目指して、1日100食を実現できるよう頑張っています。



## 2022年1月28日 高齢者グループホーム 2月28日 配食勉強会

楠元塾1期の塾生が初めて高齢者グループホームの配食を受託することになり、2期生・3期生にもお声かけをして実施しました。

楠元塾長は、病院給食をはじめ老人ホームの食事なども受託されています。朝・昼・晩の3食提供するときの道具の用意から、ムース食・ソフト食をはじめ提供するメニュー、お客様へのメリットなど、幅広くお話しいただきました。「高齢者食は奥が深いです。見た目も美しく、食欲が出てくるように心を込めて盛り付けを、薄味でなくだしなどでしっかりと味をつけてください」と楠元塾長。公的なところから受注すると信用がついていきます。なによりも日々のお弁当を丁寧に美味しく作っていくことが大事と話されています。

## 2022年2月24日 第3期楠元塾 第5回オンライン研修会

### 原価率を正確に出すために、まずは棚卸し

集合研修が延期となり、急遽オンラインで開催。今回は塾生がそれぞれ塾長に質問を事前に提出し、それに答えていただくという形で進めていきました。メニューをどう決めるか、営業をどうするか、加工を進めるにあたってどんな機械が必要か等々です。

共通の課題は、原価率をいかに下げるかです。楠元塾長は、「棚卸しは、正確な原価率を出すために実施する。もう一つは賞味期限切れの在庫の口をを防ぐためです。原価率は低すぎてもお弁当の内容に関わるし、高ければ工賃に反映できません。40~45%を目安につくっていきましょう」と、研修の最後に話されました。



## YWF TOPICS

### 全Aネット 就労支援セミナー in京都 2月19日



従来型の福祉にとられないA型を



山内理事長の記念講演

「6年前に当時のA型事業所の状況に危機感を感じて活動を開始した」と全Aネット久保寺理事長による開会の挨拶で、京都のセミナーが始まりました。京都会場とオンラインあわせて、120名が参加。「クロネコヤマトのサステナブル経営」と題した、ヤマト福祉財団山内理事長の記念講演のあと、優良A型認定事業所の(株)スタジオニクロム・鬼塚氏、ENDEAVOR EVOLUTION・松浦氏、(株) With You・小林氏の事例発表がありました。その3者を交えたシンポジウムでは、生産活動と同時に福祉サービスを行うA型事業所について、それぞれの実践が語られ、従来型の福祉にとられない新しいA型事業所の姿が見えてきました。

### カレンダー販売

伊東屋様 ヤマトグループのみなさま  
ご協力いただきありがとうございました。



大阪主管支店



広島主管支店



札幌主管支店

毎年、伊東屋様(東京都中央区)からカレンダーのご寄付をいただき、全国ヤマトグループで販売しています。今年の売上は373,712円となり、全額を(社福)ヤマト自立センターに寄付いたしました。伊東屋様、ヤマトグループのみなさま、ご協力に感謝いたします。

### ヤマト繋がるプロジェクト報告会 2月7日

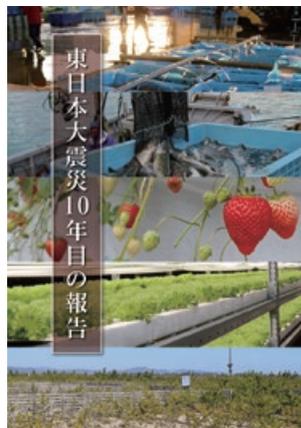


手で「Y」のマークをつくってつながる記念写真

(NPO)アクションポート横浜とのコラボ企画による、ヤマトグループボランティアプロジェクト「ヤマト繋がるプロジェクト」の報告会を2月7日、横浜にぎわい座で行いました。ヤマト運輸労働組合青年部と大学生が共同で企画・実施し、横浜の障がい者施設のみなさんに楽しんでいただいたボランティアプロジェクト。青年部のみなさんはオンラインで、プロジェクトに参加した感想や、ボランティアへの思いなどが発表しました。山内理事長は「労働組合のみなさんも含めて、ヤマトグループ全体でこういったプロジェクトと一緒にやっていけたら、ヤマト福祉財団も支援をしたい」と最後に挨拶されました。

### 東日本大震災10年目の報告

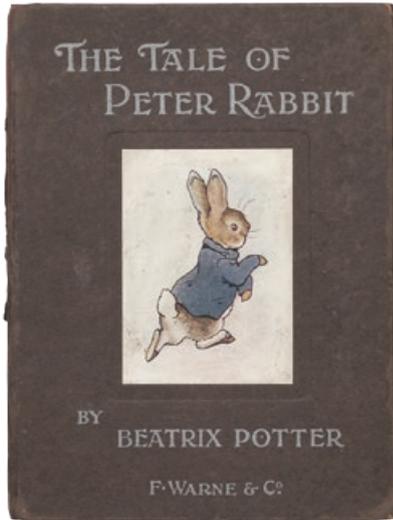
3月11日発行



東日本大震災から11年目となる、2022年3月11日、「東日本大震災10年目の報告」を発行しました。コロナ禍により取材など困難を極めて、11年目になってしまいましたが、ヤマトグループからの宅急便1個につき10円の寄付をメインとした「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」で助成しました東北3県のみなさまと、あのとき現地で復旧・復興に取り組んできたヤマトグループ社員や労働組合のみなさんにご協力をいただき、当時の状況や活動を取材させていただきました。

東日本大震災から11年が経ち、当時を知らない若い世代も増えていきます。あれからさまざまな自然災害も発生していますが、あの震災で得た教訓を決して風化させてはならない大切なものがあることを、本誌を手にとることで心にとどめていただければと思います。

ヤマト福祉財団サイトからもご覧いただけます。



『ピーターラビットのおはなし』初版：濃茶色厚紙装丁  
フレデリック・ウォーン社 1902年  
ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社  
©Frederick Warne & Co. Ltd, 2021



『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画  
ビートルクス・ポター 1902年ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社  
©Frederick Warne & Co. Ltd, 2017

## 出版120周年をお祝いするバースデイパーティ

1902年にフレデリック・ウォーン社から刊行されたシリーズ第一作の『ピーターラビットのおはなし』が、2022年に出版120周年を迎えます。

ロンドンの裕福な家庭に生まれた作者のビートルクス・ポター™(1866-1943)は、病床にいる元家庭教師の息子ノエル・ムーアを元気づけるために絵手紙を送りました。これが、いたずら好きのウサギのピーターの物語のはじまりです。愛くるしい動物たちが自然の中で織りなす物語は、1930年まで次々と出版され、全部で23冊となり、『ピーターラビット™』シリーズは、世界中で2億5000万部を超えるロングセラーとなりました。

本展は、メモリアルイヤーをお祝いし、ピーターラビットの誕生前夜から今日に至るまでのあゆみを振り返る、盛大なバースデイパーティをテーマに開催します。

## 絵本を抜け出したピーターラビットも大公開！！

作品の原点《ノエル・ムーア宛ての絵手紙》の直筆オリジナルが日本初公開。シリーズ最初の絵本『ピーターラビットのおはなし』の彩色画を、作家が当初構想した通りに、すべて揃った形でご覧いただけるのは日本で初めてです。併せて、ビートルクスが描いた日本初公開となるベットのウサギのスケッチなど、ピーターラビットが誕生する前に制作された貴重な作品を展示。ビートルクスは絵本の出版だけでなく、さまざまな関連商品も手がけました。絵本のキャラクターを商品化するための特許を取得した最初の人物だと言われています。本展では作者自らが監修したピーターラビットのぬいぐるみなど、100年以上前に作られた貴重なアイテムの数々もご覧いただけます。

本展はヤマト運輸株式会社が作品の輸送・展示を担当しています。



ビートルクス・ポター 1892年  
ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館  
Courtesy of The Victoria and Albert Museum



《庭の野ウサギ》ビートルクス・ポター 1892年  
ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館(リンダーコレクションからの寄贈)  
Courtesy of The Victoria and Albert Museum and Frederick Warne & Co.



《ウサギの頭部習作》  
ビートルクス・ポター 1890年頃  
ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館(リンダーコレクションからの寄贈)  
Courtesy of The Victoria and Albert Museum and Frederick Warne & Co.

PETER RABBIT™ & BEATRIX POTTER™ © Frederick Warne & Co., 2022

### DATA

開催期間 ▶ 2022年3月26日(土)～6月19日(日)  
休館日 ▶ 毎週月曜日(ただし、5月2日[月]は開館)  
開催場所 ▶ 世田谷美術館 1階展示室  
アクセス ▶ 東急田園都市線「用賀」駅より徒歩17分  
東急田園都市線「用賀」駅より  
美術館行バス「美術館」下車徒歩3分(1時間1～2本)  
小田急線「成城学園前」駅より  
渋谷駅行バス「砦町」下車徒歩10分  
小田急線「千歳船橋」駅より  
田園調布駅行バス「美術館入口」下車徒歩5分  
東横線「田園調布駅」より  
千歳船橋行バス「美術館入口」下車徒歩5分  
開館時間 ▶ 10:00～18:00(入場は17:30まで)

観覧料 ▶ 会期中の土日・祝日および5月2日(月)は、日時指定券を販売いたします。会期中の平日は、日時指定ではございません。チケットに関する詳細情報は展覧会公式サイトをご確認ください。

一般	65歳以上	大高校生	小中学生
1,600円	1,300円	800円	500円

※障がい者の方は500円。ただし小中高大生の障がい者は無料。介助者(当該障がい者1名につき1名)は無料(予約不要)。  
※未就学児無料  
※高校生、大学生、専門学校生、65歳以上の方、各種お手帳をお持ちの方は、いずれも証明できるものをご提示下さい。  
●状況により、チケットの販売方法、会期等が変更となる場合がございます。詳しくは展覧会公式サイトをご覧ください。

主催 ▶ 世田谷美術館(公益財団法人せたがや文化財団)、朝日新聞社、フジテレビジョン、東映  
協力 ▶ 日本航空、ソニー・クリエイティブプロダクツ  
後援 ▶ 世田谷区、世田谷区教育委員会  
監修 ▶ 河野芳英(大東文化大学教授)  
問い合わせ先 ▶ 050-5541-8600(ハローダイヤル)  
展覧会公式サイト ▶ <https://peter120.exhibit.jp/>  
巡回情報 ▶ (大阪)あべのハルカス美術館  
7月2日(土)～9月4日(日)  
(静岡)静岡市美術館  
9月15日(木)～11月6日(日)

## 第23回ヤマト福祉財団小倉昌男賞 募集

正賞：雨宮 淳氏作 ブロンズ像「愛」  
副賞：賞金100万円  
募集期間：6月1日～8月31日

ヤマト福祉財団では、障がい者の仕事づくりや雇用の創出、拡大、労働条件の改善などを積極的に推し進め、障がい者に働く喜びと生きがいをもたらしている人の中から毎年2名の方に『ヤマト福祉財団小倉昌男賞』をお贈りしています。「この人をぜひ」と思われる方のご推薦をお願いいたします。詳しくはホームページをご覧ください。また、QRコードより、第22回ヤマト福祉財団小倉昌男賞贈呈式の様子をご覧いただけます。



ヤマト福祉財団

検索



読みやすさを追求した書体

